



日刊俱日曜祭日翌
日休刊一ヶ月廿五銭
郵税十五銭一紙二銭
廣告料 一行四十銭
場所指定 一行四十銭
發行所 牛谷政喜
福馬縣平町大町二三
新いわき新聞社

四倉町の海の富

百二十五萬圓に上る

四倉漁業組合調査による昨年中の同町鮮魚漁獲高は七十五萬三千圓、水産加工高は四十六萬圓、合計百二十五萬圓に達し前年にくらべ十五萬四千五百圓の増加を示した。漁獲物の筆頭は何と云つても鯛でその揚陸漁業船は一船で最高七萬圓、最低三萬五千圓と云ふ好漁を見た

草野村部落更生協賛

草野村では去る四日経済更生

植松將軍講演會

平町十三日會では八日午後七時からマルトモホールで海軍少將植松練馬氏の講演會を開く、演題は「南洋視察談」

表彰された片倉の男女工

既報平町片倉製糸工場では昨七日昭和十一年中の優良成績なる従業員及び業手並びに勤続者に對する二百七十八名の表彰をなしたが表彰を受けたる氏名は左記の如くである

拾ヶ年勤続賞 横尾みせ
七ヶ年勤続賞 金子けさよ
田島みち 佐藤よし 上野たつみ 瀬戸みさ 小野みなせ 鈴木しん
五ヶ年勤続賞 中村まさよ
新妻たつよ 佐藤やえ 伊藤はるよ 堀川てる 興津もと 若松とし 四家かど子 大浪きよ 岡本とめ
三ヶ年勤続賞 箱崎たみ 幸ひさ 草野ちよ 我妻たつみ

まの 田島みつ 人見いち 阿部なみ 田中ふくよ 折笠はるよ 佐藤その 鈴木こう 小松さつよ 成田とみ 濱松さなえ 高木やす 遠藤あや 奥田えい
大和田とし 大間ふじ 榛澤もと 茶花あさ 山家ちよ 小松たか 柴崎しげる 大宮きよ 大倉とし 鈴木なみ子 高橋ひさの 高子はしめ 柴崎しずる 佐藤なみ子 佐藤はつね 阿部みちよ 大樂きみ 高木すい子 鈴木かをる 小野てる子 藤部たか 國井しめ 遠藤ひろえ 佐藤ちよ 上遠野きよ 小島かねみ 佐藤なをえ 阿部さつき 谷すみ子 大平しげよ 村上

常識講座

ラスは少女、下女、情婦の謂、ラストは慾、貪慾、色慾、淫慾の意、でもあるが又別に最終の意でもある、ラストフルは多慾の好色、ラスタは多慾、ラスタは好色、ラスカは悪漢

子 濱松さなえ 長谷川ひさ子 八月朔日きめ 太田まき子 鈴木ゆき子 我妻つ

暗闇から躍り出し 物も言はずに刺す

小名濱の助手君災難

小名濱町上明神町一貨物自一月着工以来順調に進捗して八月下旬から通水の見込みである

入山炭礦行事

湯本町入山炭礦では二月中の行事を左の如く決定した

- △十一日職員團結大會(職員クラブ)
- △同日従業員慰安大會(自治會館)
- △同日各區對抗マラソン(二十日)
- △従業員聯珠大會(東クラブ)
- △二十四日より二十八日まで、讀書會及び余技展覽會(神苑クラブ)

入山校學藝會

湯本入山小學校では十三日午後九時から入山炭礦自治會館で兒童學藝會を開催する

四倉町上水道

八月には通水せん
四倉町の上水道敷設工事は工費十四萬二千五百圓で昨年十

兄弟仲良く天國行

酔つて橋から墜落
入遠野村字根本農折笠武夫(五二)同人弟正夫(四〇)の兩名は六日午後九時四村の歳市で酒を飲み酔倒して歸宅の途中同村落合橋でよろけて一丈二尺下の川原に墜落頭部を強打して死亡した

四倉暮市

昨日の賑はひ
石城郡四倉町に於ける恒例舊曆十二月二十六日の暮市は昨日に當り野菜雜貨その他舊正月の諸準備は同近郷に於て全部同町の暮市に整へられるのが常で當日の購買力を以て近在の懷工合のパロメーターとされてゐるが今年も前年に比して二割以上の好況であつたと云はれてゐる

支度金を詐欺

去る三日錦村大字大倉カフエー大和こと松本しづさん方へ女給を世話すると稱して支度金名儀で五百十圓を詐欺したものとあり植田署で調査の結果右は昭和八人網羅工白河町生れ松井政男(三三)と判明捜査中

田人村の火事

田人村字妻橋一六九六平良藏方隱居宅から去る五日午後三時半由發火同家並びに本家二棟を焼いて鎮火した、原因は數年前から精神に異常を呈し

平町各商店御中

平町御客様御中
平商工會

二日市景品に付て

一、現金にて御買上の方に景品を呈します
一、現金にて商品券御買上の方にも同様景品を呈します
(但し商品券にて品物御買上の方は景品は差上げません)
二日市の景品は右の通り御買上せられんことを希望します

蘭に就て

然し如上の例證を全然破棄し、人感即男神女神でもなく或は動物學的体系と無視した超形態を構成せる半人半獸でも勿論なく、立派な馬像を同神と成し、靈室に馬札を掲げて居る民俗もあり、しからば何れの神を以て神祖の祖神と見做す可きであらうか!

内郷村で二軒

七日前十時内郷村字峰根戸部農務事務員岡村新太郎宅から發火同家並に隣家の橋本本治氏方を全焼十時四十五分鎮火した原因はかまどの火の不始末

關根課長公判

來る十六日開く
中町山事件に連坐した元平稅務署庶務課長關根清四(四二)にかゝる收賄事件の第一回公判は十六日午前十時から平區で開廷される

平町各商店御中

平町御客様御中
平商工會

民族の推移考察

(3) 生
然し如上の例證を全然破棄し、人感即男神女神でもなく或は動物學的体系と無視した超形態を構成せる半人半獸でも勿論なく、立派な馬像を同神と成し、靈室に馬札を掲げて居る民俗もあり、しからば何れの神を以て神祖の祖神と見做す可きであらうか!

